

5月の花嫁学校 (2020)

LA BONNE EPOUSE
HOW TO BE A GOOD WIFE

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2021/05/28

公開情報 アルバトロス・フィルム

映倫 PG12

【解説】

1960年代後半のフランスを舞台に、良妻賢母を理想とする花嫁学校の教師と生徒が、“五月革命”の波にも刺激を受けて、自分たちが盲目的に受け入れていた古い価値観に疑問を持ち始める姿をユーモラスに描いたコメディ・ドラマ。主演は「ポンヌフの恋人」「ショコラ」のジュリエット・ビノシュ。共演にヨランド・モロー、ノエミ・ルヴォフスキー、エドゥアール・ベール。監督は「セラフィーヌの庭」「ルージュの手紙」のマルタン・プロヴォ。

1967年、フランス。アルザス地方の小さな村にあるヴァン・デル・ベック家政学校。理想の良妻賢母を育成するこの学校に18人の少女たちが入学する。しかし校長のポーレットと2人の講師が行う授業は、女性解放運動の風を受け始めた生徒たちには納得いかないことばかりだった。そんな中、学校の経営者だったポーレットの夫が急死し、多額の借金が発覚する。破産寸前に追い込まれた学校を救うために銀行に駆け込んだポーレットは、そこでかつての恋人アンドレと思いがけない再会を果たす。彼のサポートを受け、経営の立て直しに取り組むポーレットだったが…。

【クレジット】

監督	マルタン・プロヴォ	Martin Provost	
製作	フランソワ・クロス	François Kraus	
	ドゥニ・ピノ＝ヴァランシエンヌ	Denis Pineau-Valencienne	
脚本	マルタン・プロヴォ	Martin Provost	
	セヴリーヌ・ウェルバ	Severine Werba	
撮影	ギヨーム・シフマン	Guillaume Schiffman	
美術	ティエリー・フランソワ	Thierry Francois	
衣装	マデリーン・フォンテーヌ	Madeline Fontaine	
編集	アルベルティーヌ・ラストラ	Albertine Lastera	
音楽	グレゴワール・エツェル	Gregoire Hetzel	
出演	ジュリエット・ビノシュ	Juliette Binoche	ポーレット・ヴァン・デル・ベック
	ヨランド・モロー	Yolande Moreau	ジルベルト・ヴァン・デル・ベック
	ノエミ・ルヴォフスキー	Noemie Lvovsky	マリー＝テレーズ
	エドゥアール・ベール	Edouard Baer	アンドレ・グランヴァルド
	フランソワ・ベルレアン	Francois Berleand	
	マリー・ザブコヴェック	Marie Zabukovec	
	アナマリア・ヴァルトロメイ	Anamaria Vartolomei	
	リリー・タイエブ	Lily Taieb	